



2023年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月4日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <https://www.kawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 秀行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 本間 義隆 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2023年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績(2022年12月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	6,171	1.4	216	△34.6	208	△39.4	158	△40.4
2022年11月期第3四半期	6,086	5.6	331	△4.5	344	△1.1	265	2.3

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 180百万円(△34.4%) 2022年11月期第3四半期 274百万円(△4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	129.90	—
2022年11月期第3四半期	218.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第3四半期	8,224	2,530	30.8
2022年11月期	8,321	2,411	29.0

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 2,530百万円 2022年11月期 2,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年11月期	—	0.00	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日~2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	7.5	250	△14.9	250	△17.4	180	△17.8	147.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年11月期3Q	1,220,000株	2022年11月期	1,220,000株
2023年11月期3Q	2,531株	2022年11月期	2,531株
2023年11月期3Q	1,217,469株	2022年11月期3Q	1,217,564株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3 「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な金融引き締め、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源エネルギー価格の高止まりなどの影響により景気回復ペースに鈍化が見られます。

米国では、個人消費や労働市場の増加傾向を背景に景気が底堅く推移しているものの、景気回復ペースは鈍化しました。中国においては、不動産をはじめとした耐久消費財の需要低迷、不安定な米中関係が長引く中、先行きの不透明感により景気回復は鈍化しました。日本経済は、個人消費や設備投資、インバウンド需要の回復、円安の長期化により輸出を中心に緩やかな回復基調が継続しています。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、国内自動車生産は前年を上回る状況にありますが、中国、欧州におけるEV車需要の加速によるガソリン車販売の低迷が日系自動車業界にとって懸念事項となっています。

このような環境の中、当社グループは2022年を起点とする中期経営計画（第121期「2022」から第125期「2026」まで）をスタートし、企業価値向上に向け、その中で設定した目標の実現に向けて、経営資源の選択と集中を進め経営基盤の強化を推進し、これまで培ってきた合成技術を活用し、受託合成品の拡大、品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品、医療用途脱水縮合剤、電子材料用途製品の製造販売に注力、成長分野での市場拡大を積極的に進めました。

一方、原材料価格、エネルギーコスト及び物流コストが高止まりする中、生産においては採算性を重視し、より一層の経営資源の効率化とコストダウンに全社規模で取り組みました。また、コスト上昇に応じた製品への価格転嫁を、総力を挙げて推進致しました。

ゴム製品の販売は、自動車関連を中心に国内外の顧客における在庫調整が進みましたが、医療用ゴム用途製品の顧客での在庫調整、低迷する中国市場の影響を強く受け、売上は前年同期を下回りました。中間体、その他製品については、売上は前年同期を上回りましたが、樹脂製品の売上は前年同期を下回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61億71百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は2億16百万円（同34.6%減）、経常利益は2億8百万円（同39.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億58百万円（同40.4%減）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

①化学工業薬品事業

売上高は61億42百万円（同1.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1億93百万円（同37.3%減）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は28百万円（同0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（同1.0%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム製品>

ゴム製品の分野において、国内の工業用品向け製品は、半導体不足が緩和され自動車生産が回復基調となりました。その結果、工業用品向け製品の売上は増加しました。

また、医療用ゴム用途製品は、顧客での在庫調整の影響を強く受け、販売が減少、売上は前年同期を大きく下回りました。タイヤ向け製品は、主力製品の販売数量が減少しましたが、原料エネルギーコスト上昇分の製品価格への転嫁により、売上は前年同期並みを確保しました。合成ゴム向けは、顧客要望に迅速な対応をした結果、前年同期に販売できなかった製品の販売を復活させたことにより売上は前年同期を上回りました。

海外向けは、中国での景気低迷の影響を強く受け、自動車産業向けを中心に販売数量は減少しましたが、円安の影響に加え、需要が回復し販売が復活した製品もあり売上は増加しました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム製品部門合計の売上高は33億10百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、当社の合成技術を活用し機能性受託製品を受注することが出来ました。国内向け海外向け共に、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが需要が低迷し、主要製品である重合防止剤の売上は前年同期を下回りました。海外向けの電子材料関連向け製品、ナイロン向け主要製品の需要が低迷、売上は、いずれも前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は6億66百万円(同19.2%減)となりました。

<中間体>

中間体部門においては、農薬中間体は、ほとんどの製品の販売が好調に推移し売上は前年同期を大きく上回りました。医薬中間体は、主力製品である医療用途脱水縮合剤は年間での販売予定が後半に集中、当第3四半期での売上は前年同期を下回りましたが、年間を通しては前年を上回る見通しです。界面活性剤中間体は、顧客の需要が堅調に回復、売上は前年同期を上回りました。染料向けは、主要製品の需要変動に対応し売上を大きく伸ばしました。

この結果、中間体部門合計の売上高は9億28百万円(同10.7%増)となりました。

<その他>

品質・技術に優位性を持つ電子材料用途脱水縮合剤の販売は、顧客需要の変化に柔軟に対応した結果、前年同期を上回りました。

環境用薬剤については、需要増に迅速に対応したことにより販売を増やし売上は前年同期を上回りました。レンズ用途向け特殊添加剤は堅調な需要の伸びに対応し売上を増やしました。また、電子材料向け中間体においても当社が得意とする合成技術を基盤とする製品の販売に注力し売上を大きく伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は12億35百万円(同24.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては82億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1億5百万円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が1億63百万円、流動資産その他が43百万円減少したことによります。

負債につきましては56億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億16百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億18百万円減少したことによります。

純資産につきましては25億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億19百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が97百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の通期連結業績予想につきましては、2023年1月13日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	910,919	1,015,931
受取手形及び売掛金	2,853,489	2,689,605
商品及び製品	1,117,901	1,115,856
仕掛品	442,041	502,355
原材料及び貯蔵品	498,946	461,286
その他	67,670	24,081
貸倒引当金	△4,850	△4,572
流動資産合計	5,886,119	5,804,544
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,103,098	973,838
その他(純額)	1,112,227	1,221,058
有形固定資産合計	2,215,325	2,194,897
無形固定資産		
その他	16,895	19,452
無形固定資産合計	16,895	19,452
投資その他の資産		
その他	204,484	207,027
貸倒引当金	△1,300	△1,300
投資その他の資産合計	203,184	205,727
固定資産合計	2,435,405	2,420,077
資産合計	8,321,524	8,224,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,355	1,418,529
短期借入金	1,960,000	2,260,000
1年内返済予定の長期借入金	100,801	433,336
未払金	338,236	302,032
未払法人税等	29,869	17,079
未払消費税等	-	63,022
賞与引当金	-	79,701
役員賞与引当金	16,500	9,450
その他	339,654	75,593
流動負債合計	4,422,416	4,658,744
固定負債		
長期借入金	965,318	547,816
役員退職慰労引当金	102,690	78,843
退職給付に係る負債	290,979	273,756
その他	128,773	134,863
固定負債合計	1,487,760	1,035,278
負債合計	5,910,177	5,694,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,686,444	1,783,719
自己株式	△8,202	△8,202
株主資本合計	2,346,679	2,443,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,233	42,614
為替換算調整勘定	37,433	44,027
その他の包括利益累計額合計	64,667	86,642
純資産合計	2,411,347	2,530,597
負債純資産合計	8,321,524	8,224,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)
売上高	6,086,144	6,171,195
売上原価	4,879,258	5,099,267
売上総利益	1,206,886	1,071,927
販売費及び一般管理費	875,830	855,537
営業利益	331,055	216,390
営業外収益		
受取利息	1,648	1,726
受取配当金	2,629	2,631
受取補償金	2,384	1,763
為替差益	14,536	1,255
その他	5,860	5,967
営業外収益合計	27,058	13,344
営業外費用		
支払利息	13,188	13,270
和解金	—	7,493
その他	88	56
営業外費用合計	13,276	20,820
経常利益	344,837	208,914
特別損失		
固定資産除却損	1,736	1,064
特別損失合計	1,736	1,064
税金等調整前四半期純利益	343,101	207,850
法人税、住民税及び事業税	72,567	42,706
法人税等調整額	5,019	6,994
法人税等合計	77,586	49,701
四半期純利益	265,514	158,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,514	158,149

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	265,514	158,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,168	15,381
為替換算調整勘定	22,346	6,593
その他の包括利益合計	9,178	21,974
四半期包括利益	274,692	180,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,692	180,124
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,057,641	—	6,057,641	—	6,057,641
その他の収益	—	28,502	28,502	—	28,502
外部顧客への売上高	6,057,641	28,502	6,086,144	—	6,086,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,057,641	28,502	6,086,144	—	6,086,144
セグメント利益	308,258	22,796	331,055	—	331,055

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,142,468	—	6,142,468	—	6,142,468
その他の収益	—	28,727	28,727	—	28,727
外部顧客への売上高	6,142,468	28,727	6,171,195	—	6,171,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,142,468	28,727	6,171,195	—	6,171,195
セグメント利益	193,369	23,021	216,390	—	216,390

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	6,057,641	—	6,057,641
ゴ ム 薬 品	3,401,817	—	3,401,817
樹 脂 薬 品	824,940	—	824,940
中 間 体	839,160	—	839,160
そ の 他	991,723	—	991,723
その他の収益	—	28,502	28,502
外部顧客への売上高	6,057,641	28,502	6,086,144

当第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	6,142,468	—	6,142,468
ゴ ム 薬 品	3,310,873	—	
樹 脂 薬 品	666,719	—	
中 間 体	928,913	—	
そ の 他	1,235,962	—	
その他の収益	—	28,727	28,727
外部顧客への売上高	6,142,468	28,727	6,171,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。